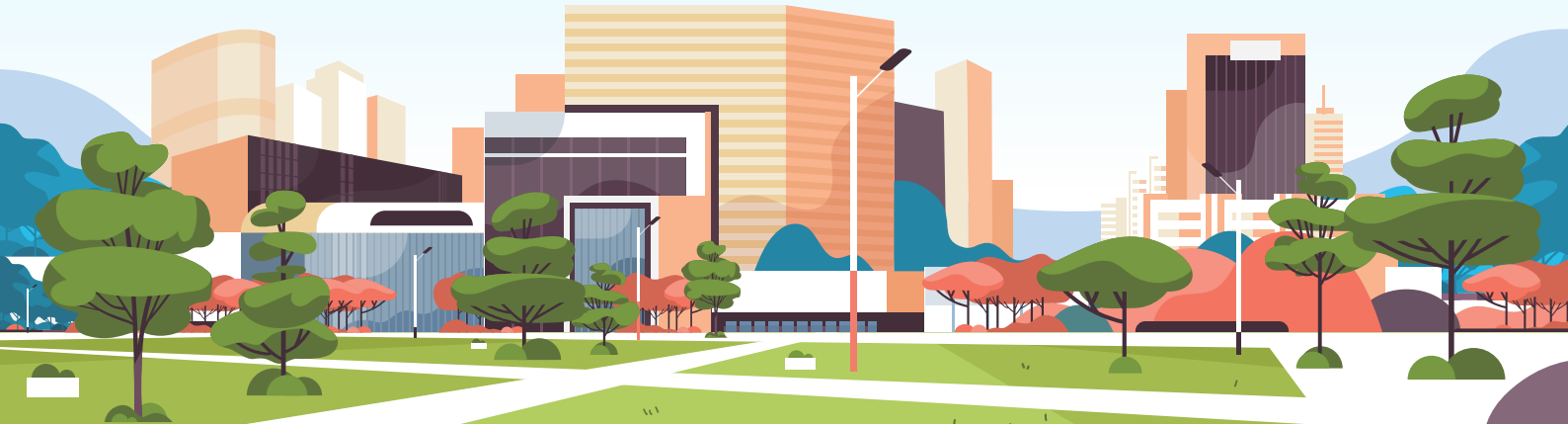
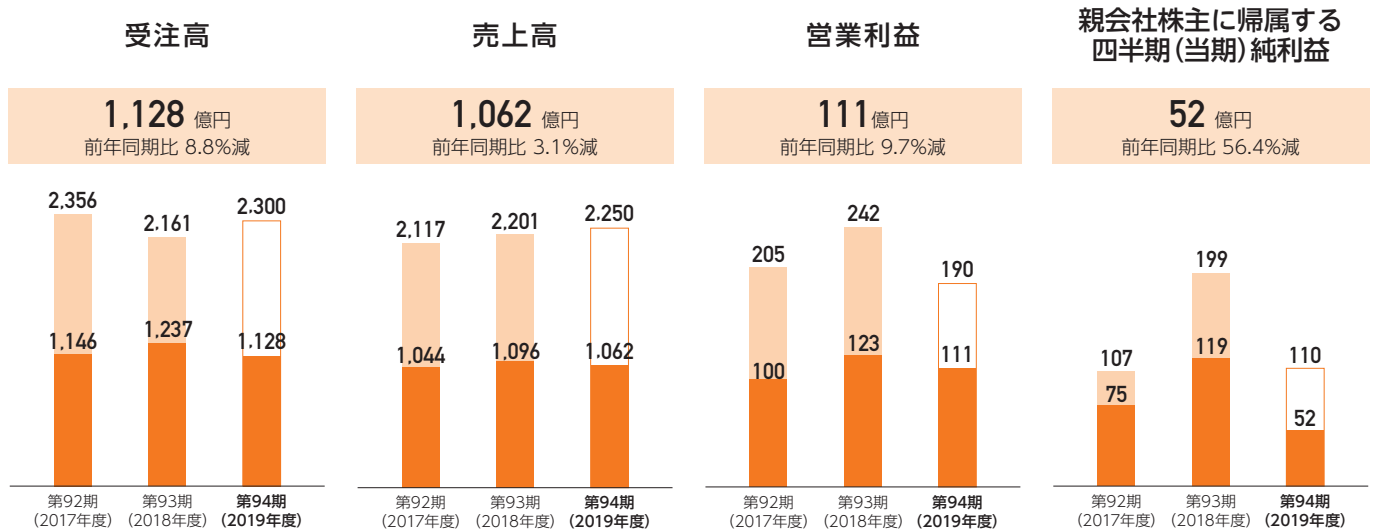


独創技術で変化を創り出し社会の発展に貢献する企業



### 連結業績ハイライト (単位：億円) ■ 中間期 ■ 通期 □ 通期予想



## 決算のポイント

### 当中間期の業績

当社グループにおける当中間期の業績につきましては、受注高は、素形材・エネルギー事業が増加したものの、産業機械事業が減少し、1,128億9百万円（前年同期比8.8%減）となりました。売上高は、産業機械事業は前年同期並みの実績を確保したものの、素形材・エネルギー事業が減少し、1,062億82百万円（前年同期比3.1%減）となりました。損益面では、営業利益は111億76百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は121億57百万円（前年同期比11.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億5百万円（前年同期比56.4%減）となりました。

### 通期業績見直し

通期の業績見直しにつきましては、2019年5月13日に公表いたしました売上高2,250億円、営業利益190億円、経常利益200億円を据え置く一方、投資有価証券評価損及び事業再構築引当金繰入額を特別損失として計上したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益が110億円に減少し、前回予想を下回る見直しとなりましたので、修正いたします。

### 当中間期の配当

当期の年間配当は、中間決算及び通期業績見直しを勘案し、1株当たり55円を予定し、中間配当として1株につき27.5円とさせていただきます。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の豪雨・台風により被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く復旧復興されますよう心よりお祈り申し上げます。

「ビジネスレポート」として当社の第94期中間報告書（2019年4月1日～2019年9月30日）をお届けいたします。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 宮内 直孝



## 各事業の概況

### 産業機械事業

売上高構成比 **82.1%**

#### ● 業績のポイント

受注高は、成形機及びFPD装置が減少したことから、865億50百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

売上高は、FPD装置が減少したものの、樹脂製造・加工機械が増加したことから、872億32百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

営業利益は、売上製品構成の変化により、107億85百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

### 素形材・エネルギー事業

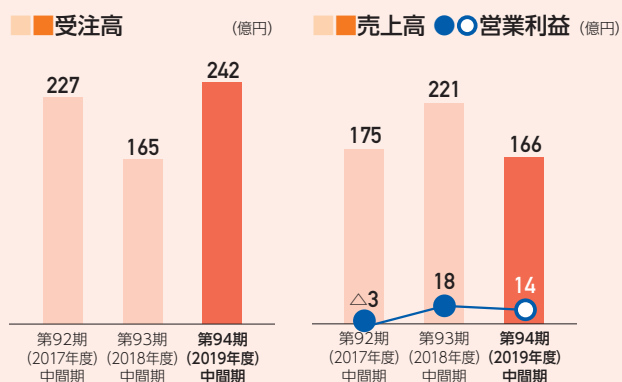
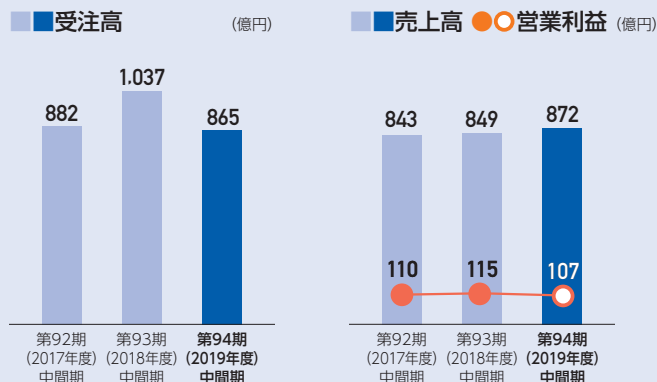
売上高構成比 **15.6%**

#### ● 業績のポイント

受注高は、クラッド鋼板・鋼管及び鋳鍛鋼製品が増加したことから、242億71百万円（前年同期比46.4%増）となりました。

売上高は、クラッド鋼板・鋼管が減少したことから、166億27百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

営業利益は、売上高の減少により、14億26百万円（前年同期比22.4%減）となりました。



## 「室蘭銅合金株式会社」設立について

当社とJX金属株式会社とは、銅合金の溶解及び鑄造を行う合併会社「室蘭銅合金株式会社」を2019年8月1日に設立いたしました。

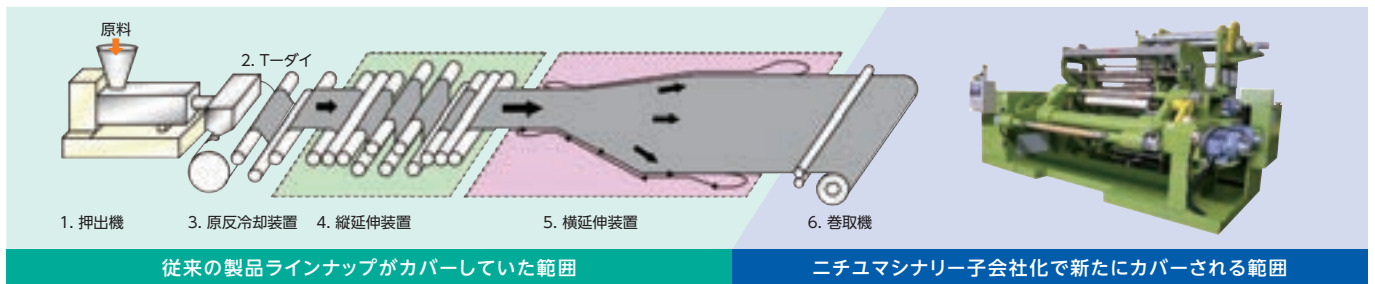
同社からJX金属株式会社へのチタン銅等の高機能金属素材の安定供給を通じ、当社は従来の鉄鋼製品に加えて高機能金属素材分野の事業拡大を推し進め、素形材・エネルギー事業の再構築を加速してまいります。



JX金属株式会社・村山誠一社長（左）との調印式の様子

## 「ニチュマシナリー株式会社」の株式取得（子会社化）について

当社は、フィルム・シート製造の最終工程である「巻取機」の製造販売会社であるニチュマシナリー株式会社の全発行済株式を2019年11月1日に取得し、子会社化いたしました。これにより、フィルム・シート製造装置の販売で重要とされるフルライン対応をより充実させ、事業拡大を図ってまいります。



### 製品紹介

### JSWの製品と社会とのつながり vol.1

## マグネシウム射出成形機

近年、自動車の軽量化・燃費向上のために素材の代替が進んでいます。これまで鉄鋼で作られていた自動車部材がアルミや樹脂に置き換わってきましたが、次世代の軽量素材としてマグネシウム合金が注目されています。

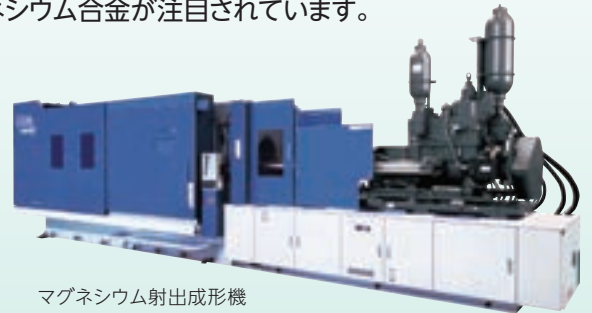
### マグネシウムとは

マグネシウムは比重がアルミの3分の2、鉄の4分の1で、実用金属のうち最も軽量です。また、高強度で放熱特性、振動吸収性、電磁波シールド性にも優れます。資源量は豊富で事実上無尽蔵、世界中に広く分布しています。再溶融・精錬すれば再利用も可能で、樹脂と比較してもリサイクルが容易なことから、世界的な「脱プラスチック」問題に対する解決策の一つとしても期待が高まっています。

### 製品の特長

日本製鋼所のマグネシウム射出成形機は、マグネシウム合金のチップを半溶融状態にして成形する「チクソモルディング」という技術を採用しています。従来型のプラスチック射出成形機とほぼ同様の仕組みで、樹脂のような精密成形が可能のため、さまざまな製品への応用が可能です。

これまではパソコンやデジタルカメラなど小型家電製品の筐体加工用として成形機を販売してきましたが、新たに型締め力1,300トン級の大型成形機を開発、販売を開始しました。車体軽量化に力を入れている自動車会社や自動車部品メーカーを中心に、今後の高い需要が見込まれます。

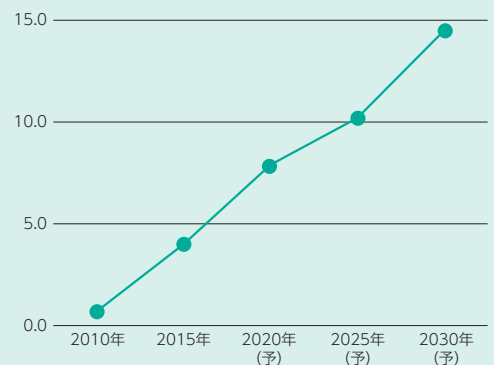


マグネシウム射出成形機



### 自動車に使用される マグネシウム合金の比率見込み\*

(単位：%)



\*当社調べ



ノートパソコン



カメラ



自動車

# 会社概要 (2019年9月30日現在)

## 会社の概要

創 立	1907(明治40)年11月1日
設 立	1950(昭和25)年12月11日
資 本 金	197億3,744万1,002円
従業員数(就業人員数)	単体:2,318名 連結:5,226名

## 取締役及び監査役

代表取締役社長	宮内直孝
代表取締役副社長	東泉豊
取締役常務執行役員	柴田尚
取締役常務執行役員	大下真雄
取締役常務執行役員	松尾敏夫
取締役常務執行役員	出口淳一郎
取締役執行役員	岩本隆志
取締役(社外)	持田農夫男
取締役(社外)	出川定男
常勤監査役	渡邊健二
常勤監査役	西山透
監査役(社外)	増田格
監査役(社外)	谷澤文彦

## 執行役員(取締役兼務者を除く)

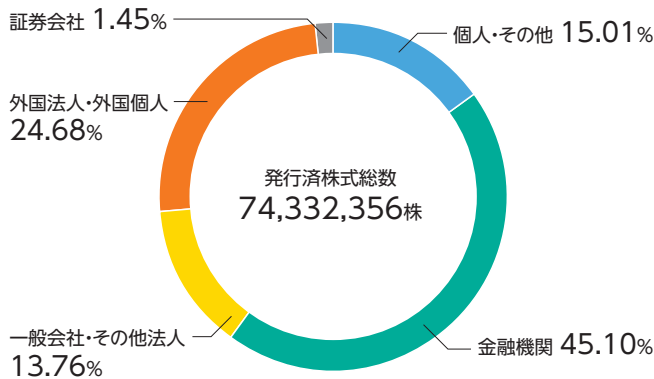
常務執行役員	香川豊彦
執行役員	佐藤善隆
執行役員	三戸慎吾
執行役員	菊地宏樹
執行役員	井上茂樹

(注) 当社は、取締役 持田農夫氏及び出川定男氏並びに監査役 増田格氏及び谷澤文彦氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式総数	74,332,356株
株主数	21,585名

## 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

## 同封の株主アンケートにご協力ください。

株主の皆様のご意見を活かして今後のIR活動をより充実したものにするため、「株主アンケート」を実施いたします。本レポートに同封のアンケートはがきでご回答・ご返送くださいますようお願いいたします。  
※お寄せいただいた情報は、当アンケート以外の目的には使用いたしません。

アンケート締切 2020年1月31日(必着)

ご回答いただいた方の中から抽選で100名様に当社オリジナルQUOカード500円分をプレゼントいたします。なお、抽選結果の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



## JSW 日本製鋼所

〒141-0032  
東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎 ウェスタワー)  
Tel 03-5745-2001(大代表)



この報告書は、環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。